

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること

- ①小規模事業者地域経済動向調査
  - ・小規模事業者地域経済動向調査
- ②地域経済動向に係る国等支援機関が実施する既存調査を活用する事業
  - ・ホームページでの公開頻度
- ③観光客の消費需要動向に関する調査
  - ・消費者リサーチ（産業振興祭・犬山市特産品館・その他イベント会場）
- ④商工会議所L O B O調査（早期景気観測）
  - ・日商L O B O調査

目標		平成28年度	実績	平成29年度	実績	平成30年度
小規模事業者地域経済動向調査	回収件数	276	620	331	221	予定なし
同	回収率	15	31.8	18	35.6	—
観光客の消費動向調査	回収件数	300	実施できず	400	約100	予定なし
同	回収率					—
ホームページでの公開頻度	回数	15	0	15	0	15

実施内容

- ・小規模事業者地域経済動向調査は㈱東京商工リサーチに業務委託。市内小規模事業者を対象に11月から12月に実施。H30.2月に公表。
- ・地域経済動向に係る国等支援機関が実施する既存調査を活用する事業は、H29.10.6から当所のHPにリンク掲載して実施
- ・観光客の消費動向調査は、H29年11月～12月までの間実施。現在集計中で、H30.3月公開予定
- ・商工会議所L O B O調査は、毎月4事業所の景況・経営課題を調査し、日本商工会議所で取りまとめ後、翌々月当所所報で公開している。

課題・問題点

- ・2種動向調査着手日の遅れ。2月及び3月の公表となり、個社支援につながらなかった。

改善方法

目標数値は概ね達成することができた。今後は、中小企業景況調査及びL O B O調査の分析結果を小規模事業者に分かりやすく提供して、経営判断に効果的に活用してもらうことが必要である。また、初めて実施した「経営実態調査」では、定性面を中心に経営者の現状を知ることができた。今後の事業展開を検討すにあたり十分に活用していきたい。また、未回答者に対しては事業所訪問等より回答をお願いして、調査の精度を高めていく。次年度もテーマを厳選して調査実施いきたい。

H28

改善方法

①事業者の経時変化を観察するため、調査対象事業者数をH28の620社としたため、回収件数はやや下回ったが回収率はUPした。今回調査した結果については、平成30年以降の個社に対する経営計画書作成支援に活用する。なお、調査結果内容について、調査し公表するまでにとどまっており、これを活用した個社支援につながっていない。個社支援する職員への情報共有もできていない。調査結果の分析・評価方法とこれを踏まえた支援の在り方について職員の認識の統一を図るため、業種別・地域別等活用方法について調査研究し、職員間の情報共有を行ったうえ、個社支援につなげたい。また、会議所への要望事項については、犬山商工会議所HPに公表したが、これを踏まえて次年度以降開催するセミナー等に反映させたい。なお、H30年度の地域経済動向調査は、経営発達補助事業から外れたため、実施は見送り、代わりに既存の調査を活用して実施して行きたい。②支援担当職員の分析、評価等の能力不足が露呈。①と同様の改善を実施する。③実施時期の遅れから、個社支援につながらなかった。次年度以降、職員間で調査結果の情報共有して個社支援につなげたい。④担当職員が変更。業務の引き継ぎ不備が課題未着手の原因の1つ。職員間の情報共有の徹底を図る。

H29

2. 経営状況の分析に関すること

①各種資料の分析方法と提供

- ・小規模事業者への巡回窓口指導延企業数
- ・事業計画書等作成事業
- ・各種セミナーの実施
- ・専門家派遣事業（ミラサポ）

目標		平成28年度	実績	平成29年度	実績	平成30年度
巡回窓口指導件数	件数	1,296	1,654	1,296	1,280	1,296
セミナー参加者数	人数	40	51	50	36	60
経営状況の把握対象事業者数	件数	50	15	50	18	50
<b>指導診断書作成数</b>	<b>件数</b>	<b>50</b>	<b>15</b>	<b>50</b>	<b>18</b>	<b>50</b>

実施内容

- ・巡回805件、窓口475（H29.12月末現在、経営指導員4名補助員2名、小規模事業者のみ）
- ・セミナー開催実績→  
 H28 「若手後継者育成「魅せる話し方講座」25人」「POP 14人」「人材育成（職長教育）12人」  
 H29 「事業承継10人」「人材育成2回 16人」「創業間もない方の販路拡大10人」

課題・問題点

- ・巡回窓口指導件数、セミナー参加者数は概ね順調に推移したが、これが指導診断書作成数に結びついていない。
- ・本年度も小規模事業者持続化補助金、犬山商工会議所小規模事業者設備投資等補助金、等に関連した事業計画書作成が中心となった。
- ・計画立案当初は巡回やセミナー参加者から診断書の作成を促す予定であったが、本年度は補助金申請や融資等希望者が切り口の中心となった。

改善方法

H28 経営分析事業者数は、①持続化補助金申請者、②マル経融資申込者、③ミラサポ等専門機関・専門家と連携して経営改善計画策定等に向けて経営分析を行った事業所数を合計したものである。概ね数値目標は達成することができたが、経営分析から事業計画策定につなげることができた事業所も少なからずあった。フォローアップを徹底していくことが肝要である。

H29 経営分析事業者数は、①持続化補助金申請者、②設備投資補助金申請者、③マル経融資申込者、④専門家と連携して経営改善計画策定等に向けて経営分析を行った事業所数を合計したものである。セミナー等への受講者数は概ね達成されたが、経営分析につながった者はほとんどなかった。巡回窓口指導時における経営分析から事業計画書作成支援につながった者がほとんどであったが、なかには、金融機関や税理士など支援機関からの情報提供からつながった者もあった。少ない人数ではあるがセミナーからもあるので引き続き粘り強く、説明していきたい。

3. 事業計画の策定支援に関すること

- ①事業計画書の策定支援
  - ・事業計画書の策定
  - ・事業計画書作成セミナー
- ②事業承継に関すること
  - ・事業承継支援事業の周知
  - ・事業承継セミナー
  - ・専門家による相談会

目標		平成28年度	実績	平成29年度	実績	平成30年度
事業計画作成セミナー・事業承継セミナー	人数	20	15	25	31	30
個別指導	人数	10	42	15	45	15
事業計画書作成件数（事業承継を含む）	件数	42	36	42	26	42

- ③創業・第2創業支援に関すること
  - ・創業セミナー・創業塾
  - ・経営革新セミナー「経営力を向上し、売上を増やすためのセミナー」

目標		平成28年度	実績	平成29年度	実績	平成30年度
創業セミナー及び創業塾の参加者数	人数	15	15	20	5	15
創業計画作成者数	人数	5	10	5	1	5
経営革新計画作成者数	件数	3	1	3	1	3

実施内容

- ①・事業計画作成セミナー（6人）、②事業承継セミナー（1月）、③経営革新セミナー（2月20日開催予定）
- ③・経営者育成犬山塾（5人）、③西尾張創業塾（〇人）

課題・問題点

- ①・事業者に対する事業計画の必要性の訴求：専門家に丸投げし、失敗したケースがあり、事業者の意識改革が必要。②支援対象となる、事業承継に係る課題・創業希望者の掘り起こし

改善方法

目標数値は達成することができたが、持続化補助金などの申請及びマル経融資における推薦書作成に係る事業計画支援が多数を占めた。今後は補助金や融資実行目的だけでなく、長期的な経営発達のための計画策定援が必要である。ただ、持続化補助金については、小規模事業者が持ち込む事業計画を添削すること留まらず、スタート段階より申請に関与して、手厚い支援を実施することができた。創業支援については、集団セミナー個別相談実施後のフォローについては十分でないことも多く、さらに追跡支援を徹底していきたく考える。

H 2 8

改善方法

- ①今年度の事業計画書作成事業所は、補助金利用者22件（持続化補助金、設備投資補助金）、創業間もない方1件、融資1件、経営力強化1件、経営革新1件で、残念ながら何か設備投資や、融資、税制優遇などを目的に、経営計画書を作成した事業所のみという結果となった。一般的に事業者の事業計画作成意識は希薄であり、その必要性、意義を納得させる工夫が必要（成功例、成功体験）。今後については、必要に応じて専門家の活用を図りつつ、やる気のある事業者を中心に経営計画書作成支援を行う。また、創業予定者、開業間もない者についても作成を促し経営計画書作成支援を行っていきたい。②事業承継問題を抱える事業者情報の収集方法、ルート（金融機関）づくり。③経営者育成犬山塾の出席人数は目標を下回ったが、講師に東京から日本全国の経営情報を有した講師陣を招いて実施したため、参加者からは好評を得た。受講者が必要としている情報を得ることができ満足度は高かったと言える。また、5人の受講者中、3人が開業することができた。市外からの募集をも視野に、受講者数の増大を図るとともに、フォローの充実に努めていく。また、会員増強キャンペーンで訪問する新規に開業した事業所も巡回等によりセミナー受講を案内し、経営計画書作成につなげたい。

H 2 9

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

平松	4	梅田	0
倉次	23	松井	1
今瀬	75		
倉橋補佐	5		

①事業計画実施支援

- ・計画の実施進捗状況の把握
- ・対応措置の実施
- ・支援の継続的实施

目標		平成28年度	実績	平成29年度	実績	平成30年度
事業計画フォローアップ事業者数 (事業承継、創業、経営革新を含む)	件数	50	32	50	108	50

実施内容

- ・巡回窓口相談指導事業における課題解決提案の取組状況の取りまとめ（愛知県尾張県民事務所産業労働課）の実数値
- ・切り口はいくつかあるがいずれも事業所が抱える課題に対する指導を行った。

課題・問題点

- ・上記するように課題解決に向けた提案の切り口（融資や補助金申請等）が先行し、その後巡回やセミナー等を斡旋する形になっている。
- ・解決提案をするための指導員等の能力の向上。

改善方法

H 2 8

今後は、補助金や融資実行目的だけでなく、事業所中長期計画として機能する経営戦略策定支援を目標にしていきたい。小規模事業者持続化補助金のみならず、経営革新を目指す事業所の支援も実施していきたい。これまで、手薄であった「ものづくり・商業サービス新展開支援補助金」申請支援にも取り組んでいきたい。そのためにも、各支援機関 や金融機関ともこれまで以上に連携体制を強化する必要がある。

改善方法

H 2 9

事業資金の確保のみで事足りるとすることなく、他の支援機関等との連携を探り、売り上げに直結するマーケティング面（PR活動など）での支援へとシフトアップを図る。

5. 需要動向調査に関すること

①市場・消費・需要動向調査

- ・地域経済動向に係る国等支援機関が実施する既存調査を活用
- ・（市場情報収集商圏レポート活用）

②消費者リサーチによるニーズ情報等の収集、提供

- 犬山市産業振興祭での情報収集
- ・販路開拓支援PRコーナーの実施
- 近隣商工会議所等のイベント会場での情報収集
- 犬山特産品館での情報収集

目標		平成28年度	実績	平成29年度	実績	平成30年度
犬山産業振興祭	人数	20	106	20	4	20
犬山特産品館	人数	15		15	0	15
その他イベント会場（こまき信長まつり等）	件数	15	41	15	雨で中止	15
アンケート&ヒアリング回収数	件数	300		300	0	300

実施内容

①市場・消費・需要動向調査については、インターネットで業種と需要動向を検索すると、国等支援機関や民間の業界団体等で調査した内容が表示され、それを活用する方法で行った。

②消費者リサーチによるニーズ情報の収集提供については、産業振興祭会場において、これまで伴走型支援してきた事業所の取り扱う商品やサービス内容について、来場者にPRする場を提供して実施した。出展社数 4社

課題・問題点

- ・消費者リサーチについての事業者からの要望はほとんどなし。

改善方法

H28

目標数値を達成することはできなかった。そもそも需要動向調査の依頼自体が少なかった。市場情報収集商圏レポート活用事業は費用対効果を考え次年度は廃止するが、次年度も当所独自の調査・分析を実施していくとともに、事業所の需要を掘り起こす努力を行っていききたい。

改善方法

H29

①市場・消費・需要動向調査については、引き続き現状通りの方法で行う。ただし、市場情報収集商圏レポート活用については、他商工会議所が需要動向分析の成果を上げており、調査研究していきたい。②消費者リサーチについては、事業者からの要望はほとんどないため、支援担当者が実施すべきと判断した事業所に協力依頼をして実施する。ただし、展示するのみでは当該商品の消費動向はわからず、事業者が自ら会場に立って消費者に当該商品の特徴等を説明して情報を得ることが望ましいため、短時間でも出席を促す必要がある。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

① 展示会参加事業

- ・メッセナゴヤ
- ・ビジネスフェア
- ・多治見「き業展」

目標		平成28年度	実績	平成29年度	実績	平成30年度
メッセナゴヤ	件数	10	10	10	10	10
ビジネスフェア	件数	12	12	12	10	12
き業展	件数	1	2	1	1	1

② ビジネスマッチング

- ・地域商談会（尾張会場）
- ・アライアンスパートナー発掘市
- ・多治見ビジネスマッチング 企業お見合い

目標		平成28年度	実績	平成29年度	実績	平成30年度
地域商談会	件数	10	6	10	4	10
アライアンスパートナー	件数	12	12	12	12	12
多治見ビジネスマッチング	件数	1	1	1	1	1

③ 「技術シーズ案内書」発行事業

目標		平成28年度	実績	平成29年度	実績	平成30年度
技術シーズ案内書掲載事業者数	件数	0	0	30	24	0
技術シーズ案内書各社PR	件数	0	0	60	50	0
技術シーズ案内書活用商談件数	件数	0	0	5	未追跡	0

④ 「グルメ&ナイトマップ」作成事業

目標		平成28年度	実績	平成29年度	実績	平成30年度
グルメマップ掲載者数	件数	0	0	30	28	0
マップ持参による新規売上拡大件数	件数	0	0	60	未追跡	0

⑤ ホームページ作成支援

- ・売れるホームページセミナー ①SNS編

目標		平成28年度	実績	平成29年度	実績	平成30年度
セミナー参加者数	件数	10	40	10	23	10
ホームページ開設者数	件数	5	未追跡	5	未追跡	5
新規顧客獲得数	件数	3	未追跡	3	未追跡	3

⑥ 観光事業者向け研修

- ・販路開拓セミナー（インバウンドj 需要拡大）

目標		平成28年度	実績	平成29年度	実績	平成30年度
セミナー参加者数	件数	10	3月開催	15	13	20

⑦ 「Linkers」（マッチングサービス）の活用

- ・Linkersの活用

目標		平成28年度	実績	平成29年度	実績	平成30年度
仲介回数	回数	1	1	1	0	2

実施内容

- ・展示会、マッチング事業、ホームページセミナーについては概ね順調に実施。
- ・技術シーズ案内書、グルメ&ナイトマップ作成事業は隔年事業で、本年度実施。

課題・問題点

- ・展示会、マッチング事業、ホームページセミナーの追跡指導ができていなかった。

改善方法

H 2 8 目標数値は達成することができたが、フォローについては十分でなかった。今年度は参加者等に対して、ステップアップの支援も実施していく。

改善方法

H 2 9

全体的には、参加事業所数は概ね達成されたが、商談後の成約までフォローして実施していく。①・メッセナゴヤについては、有効性は高い。展示スペースのコマ割り等を工夫し、新しい参加事業者を増やす取り組みを実施。・ビジネスフェアについては、専門家を活用して展示方法の刷新を図る。・多治見き業展については、参加企業の絶対数を増やす工夫をする。②・地域商談会については、巡回指導を活用して参加企業を増やす。・アライアンスパートナーについては、商談成果も拡大しており、今後はフォロー活動にも注力する。・多治見ビジネスマッチングについては、参加企業の絶対数の増加、個社支援の一端としての活用を試みる。③掲載している企業情報項目等が画一的であるため、掲載企業の意向、ニーズを踏まえた情報内容とすることや、掲載企業を近隣市町に拡大するような企画に挑戦する。④ナイトマップという名から、夜のメニューのつもりが、昼に来店された客あり。サービス時間の表示方法を検討する。⑤・SNSセミナーについては、有効性を確認。参加人数増、内容の充実を図り、企業ニーズに応える。⑥中国、韓国、東南アジア等の来訪客多い。翻訳アプリの活用について調査研究する。⑦発注内容が高度であり、活用可能な情報は極めて少ないのが実情。引き続き普及、活用に取り組む。

II. 地域経済の活性化に資する取り組み

①「犬山市産業振興祭」事業

- ・参加事業者からのチラシ・特典等配布
- ・新規参加事業者数
- ・アドバイス件数

目標		平成28年度	実績	平成29年度	実績	平成30年度
チラシ・特典等配布事業者数	件数	10		12	不明	15
新規参加事業者数	件数	3		3	不明	5
アドバイス件数	件数	6		6	なし	6

②犬山祭を活用した地域経済の活性化に資する事業

- 目標
- キャンペーンマップの作成 10万部
- 名鉄との連携を図るための会議 2回

③地域振興活性化事業

- ・栗栖・継鹿尾地区
- ・羽黒地区
- ・池野地区

目標		平成28年度	実績	平成29年度	実績	平成30年度
桃太郎の節分祭	来客数	380		400	400	450
ぜんきゅう教室	来客数	40	0	40	35	40
入鹿池ウォーキング	来客数	150		150	150	150

④地域産業資源の活用

- ・犬山ドッグ

目標		平成28年度	実績	平成29年度	実績	平成30年度
参加店舗数	件数	22	22	25	28	25
中学校給食採用回数	回数	1	1	1	1	1
小学校給食採用回数	回数	1	1	1	1	1

- ・桃太郎神社

目標		平成28年度	実績	平成29年度	実績	平成30年度
土産品開発数	件数	1	0	1	1	1

⑤観光振興

- ・グルメマップの作成
- ・外国語看板対策事業
- ・外国語メニュー標記セミナー

目標		平成28年度	実績	平成29年度	実績	平成30年度
マップ参加数	件数	50		50	0	50
看板標記検討会数	回数	2		2	0	2
セミナー参加者数	人数	10		10	11	10

⑥まちづくり関連団体連携事業

- ・犬山市まちづくり関係団体連絡会議の開催



H 2 8	実施内容	・各種地域活性化事業の参加協力
	課題・問題点	・結果的に例年並みの動きとなり、特に変化することはなかった。
	改善方法	目標数値は達成にバラつきがあるものの、事業が小規模事業者の販路拡大に結び付いてるかどうかは厳密な検証が必要である。地域活性化と当所の使命の中で、本事業の目標である小規模者販路拡大をいかに 織り込んでいくか、更なる検討が必要である。

H 2 9	改善方法	①市外来訪客の増加を目的に名鉄と連携しウォーキングを誘致。観光客を始め、市外からの来場客拡大に向けた工夫を実施した。②実施なし ③ 各イベントへの来客数は、ほぼ目標達成できたが、近隣の商工業者への来店客数・売上の増加に至ったかどうかはわからない。当所として、地域活性化と小規模事業者の販路拡大を繋げて、地域活性化事業の事業計画立案、事業実施が必要である。④特産品開発を改組し、犬山ドッグに特化する。⑤外国語看板対策事業について、行政の関与が得られず ⑥H 2 8年度まで実施。当初の目的である市内に存在するまちづくりに関係する各種団体がどのような事業を実施して、連携できる事業についてを情報共有して、連携して事業する当初の目的は達成したため開催せず。
-------	------	---

### III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

#### 1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

- ①犬山商業経営発達連絡会（仮称）の開催
- ②（仮称）経営革新等支援機関情報交換会の開催

目標		平成28年度	実績	平成29年度	実績	平成30年度
犬山商業経営発達連絡会	開催数	1	0	1	0	1
経営革新等支援機関情報交換会	開催数	1	2	1	2	1

#### 2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

- ①愛知県が実施する経営指導員等の義務研修、
- ①日本商工会議所・中小企業大学校のセミナー
- ②尾張地区の商工会議所と連携した合同勉強会
- ③愛知県商工会議所連合会の中小企業相談所長会議での情報収集
- ③尾張地区の商工会議所の経営改善普及事業運営研究会からの情報収集
- ④経営指導員等による内部検証評価報告会

目標		平成28年度	実績	平成29年度	実績	平成30年度
合同勉強会	開催数	3	2	3	4	3
内部検証評価報告会	開催数	6	4	6	3	6

実施内容

- ・金融機関・税理士・中小企業診断士・商工会議所等認定支援機関による情報交換会を開催
- ・全職員内部研修3回 尾張商工会議所各種研修会1回 その他支援団体等が実施する研修会等へ積極的に参加。

課題・問題点

- ・総務課職員の研修参加が少なかった。
- ・従来からの業務を実施したうえでの経営発達支援事業となったので、各職員業務過多が見られる。

改善方法

H 2 8 毎年恒例の支援担当者向け研修会のみならず、小規模事業者支援に特化した研修会も積極的に職員を派遣した。職員の自主勉強会を開催して、スキルアップに努めた。

改善方法

H 2 9 これまで以上の一層の業務効率化と支援する職員全員の資質向上に取り組む必要がある。経営発達支援事業、個社支援事業に対して職員間の情報連絡を密にして情報共有を図り、支援する職員の資質向上につとめる。

3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

① P D C A の実施

実施内容

- ・個社支援に関する P D C A は、1 月～2 月に 1 回実施。

改善方法

H 2 9 ・ P D C A の意義等につき、職員の意識を高めるとともに、実施時期等を調整し支援事業の実効性を高めることとする。





















